

令和7年度 決算報告書
(第22期)

国立大学法人鳥取大学
(単位: 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,415	11,405	990	(注 1)
施設整備費補助金	1,088	1,088	-	
補助金等収入	530	1,865	1,335	(注 2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	16	16	-	
自己収入	32,272	33,767	1,494	
授業料、入学料及び検定料収入	3,640	3,014	△625	(注 3)
附属病院収入	28,242	30,116	1,874	(注 4)
財産処分収入	0	1	0	
雑収入	389	634	245	(注 5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,142	2,523	380	(注 6)
引当金取崩	37	34	△2	(注 7)
長期借入金収入	-	-	-	
目的積立金取崩	486	347	△139	(注 8)
計	46,988	51,047	4,059	
支出				
業務費	42,824	43,675	851	
教育研究経費	13,041	13,474	432	(注 9)
診療経費	29,783	30,201	418	(注 10)
施設整備費	1,104	1,104	-	
補助金等	530	1,150	620	(注 11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,142	2,275	132	(注 12)
長期借入金償還金	386	387	0	
計	46,988	48,592	1,604	
収入－支出	-	2,455	2,455	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金の繰越額が増加したこと、基幹運営費交付金及び特殊要因運営費交付金が追加交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が990百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の受入により、予算金額に比して決算金額が1,335百万円多額となっています。
また、授業料等減免費交付金が681百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、補助金等収入に計上した授業料等減免費交付金を予算金額に計上していたこと等により、予算金額に比して決算金額が625百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、入院診療単価の上昇等による増収により、予算金額に比して決算金額が1,874百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、PFI事業に伴う財産貸付料収入及び物価高騰対策支援金の受入れ等の増加により、予算金額に比して決算金額が245百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった民間等からの受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が380百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、附属病院承継外職員の退職給付費用の減少により、予算金額に比して決算金額が2百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が139百万円少額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、退職給付費用の増加及び人事院勧告に伴う給与改定による人件費の増加等により、予算金額に比して決算金額が432百万円多額となっています。
- (注10) 診療経費については、予算額にて教育研究経費へ計上していた人件費を勤務実態に応じて診療経費で執行したこと等により、予算金額に比して決算金額が418百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注2)に示した理由等により、執行額も増加したため、予算金額に比して決算金額が620百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由等により、執行額も増加したため、予算金額に比して決算金額が132百万円多額となっています。

○決算金額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費の決算金額と損益計算書上の計上額との差異について、固定資産の取得に関わる支出が主要因となっています。